

◆ サービス概要

『土湯温泉地区を訪れる高齢者・障がい者・観光来訪者等を対象としたサービスの提供』

サービス対象

土湯温泉地区を来訪するこの地に不慣れな観光客、高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用者

サービスの特徴

利用者の実感に即した NWD のコンテンツづくり

◆ 協議会メンバー

協議会構成機関名	役割
NPO 土湯温泉観光まちづくり協議会 土湯温泉観光協会／土湯温泉旅館事業協同組合	事業企画、推進方針の検討、関係組織の調整
ふくしまバリアフリーツアーセンター	バリアフリー情報の調査・整理 移動制約者によるシステムの現地モニタリング
土湯温泉観光協会	全体調整、広報、運用、データ更新
福島市 観光課／福島市 企画経営課／福島県県北地方振興局 企画商工部	自治体関連事業・関連部局等との調整
大阪電気通信大学 総合情報学部／慶應義塾大学 環境情報学部	技術的な知識やノウハウに関する助言
福島交通㈱	バス事業等の情報提供
㈱環境総合テクノス／㈱社会システム総合研究所	システム開発、歩行空間ネットワークデータ作成、 情報コンテンツ作成

◆ 経緯・スケジュール

H19 年度：福島市協働のまちづくり事業などを通じて、①土湯温泉地域バリアフリーマップ、HP 作成、②バリアフリー施設調査、③車イス介添え研修会、その他、④バリアフリー観光施設視察、⑤障がい者受け入れ施設との意見交換会を実施

H21 年度：NPO 法人ふくしまバリアフリーツアーセンター設立

H23 年度：土湯温泉町復興再生協議会発足（10 月）

H24 年度：震災復興官民連携支援事業において「小水力発電による土湯温泉町スマートコミュニティ事業」の検討を行う（ICT を活用した観光ツールの導入検討）

H25 年度：魅力ある土湯温泉町の再生復興の起爆剤として現地事業に応募

□ 歩行者移動支援に関する現地事業実施箇所に選定（H25.5 月）

□ 第 1 回協議会開催（H25.9.11）

□ 実証実験開始（H25.11.9）※実験によるデータ収集と本稼働へ向けた反映

□ 協議会による運用開始（H26.3～予定）

◆ サービスエリア図



◆ 今年度の導入効果

- 移動制約者に配慮した観光地であることが PR できた
- 実験開始から 60 日間で 24 都府県より、3,800 人以上が本サービスを利用
- Web アンケート回答者（約 100 人）の 9 割がサービス継続を希望

◆ サービス導入の波及効果

- 地域の再発見（例. 温泉ペットの掲載）
- 障がい者・高齢者の視点に立った地区内で別途計画中のハード整備事業の再点検

◆ サービス展開構想

- 観光協会前へのデジタルサイネージの設置
- 災害時の活用を検討（要介護者など登録）
- 避難施設に関する情報の拡充
- 行政との連携による、JR 福島駅周辺地区など他地区へのサービス提供範囲の拡大

◆ サービスの先進性

- ・地域独自の構想（Wi-Fiフリーエリア）の一部として通信用Wi-fiを設置し、移動支援でも使用
- ・本サービスを契機として交通機関側のコンテンツ整備が促された（時刻表、バス旅モデルコース）